

★今年の漢字一文字只今、募集中です！！

収穫の秋、美味しくいただきました(〇)

1～3年はさつまいも、4年生は夏野菜、5年生は米、6年生が食育プロジェクトの野菜3種…さつまいもの収穫が過日行われました。3年生は焼き芋に挑戦です。教師があまり手を出さず、子どもが中心となって活動することを意図したそうです。黄色い美味しそうなさつまいもがホイルから出て来たときの歓声がかくよかったです。



わあ～美味しそうな…



クロマツ、いわき市へ

15日(金)に6年生が畑で育てたクロマツ計80本です。現地でご指導いただいた営林署、NPOの方々の話では5年後を楽しみにしてください、とのことでした。子どもたちは被災地も実際に見て、自分たちの活動の意義を再確認することができたと思います。活動継続の大切さを感じました。



学校だより【ふるさとの森】:第14号

※誤字・脱字がありましたらご容赦ください。

H25.11.21 文責：橋本



公 と 私

1か月に2号発行が目標の「ふるさとの森」ですが、ペンを執る時間を見つけ出すことができず、今日と29日の2回を予定しました。

さて14号のタイトルは「公と私」です。今から書くことは『週刊教育資料』というものに掲載されている

たものです。ある保護者から、「うちは、小中に兄弟がいるので小中同じ日に授業参観をしてもらえば、会社を休むのが1回で済む。同じ日にしてほしい」という要望があったとする。だが数日もたたないうちに別の保護者から「うちは小中に兄弟がいるので小中同じ日に授業参観をされると見に行けない。日をずらしてほしい」と正反対の要望が来る。どちらも子どもが小中にいるという事情は同じだが、要望が違う。どうしたらよいか???これは「公」と「私」とすると「私」に属することと考えます。「家庭や地域の声」を取り入れて学校経営を進めるのは好ましいことであり、学校の閉鎖性を打破するものとして広く支持されるべきです。しかし、この投稿者は続いて次のように述べています。「しかし、ひとくりに家庭や地域の声」というのが、このところかなり変わってきた。つまり、「公」や「みんな」のことを考えた「家庭や地域の声」であれば、着地点があるのだが、最近では「私」や「自分」のを中心にした声が多いです。本校保護者・地域の方々にはこうした例はありませんが、この場を借りて私はこう考えるということを再確認させていただきます。**学校は多数の児童が学ぶ公的な場所です。つまり、「公」を意識した教育がなされており、保護者や地域の方々からの要望・ご意見等もそうしたことが意識されているものと思います。**学校・家庭・地域が一体化した、地域に根ざす教育・・・保護者・地域の皆様のご協力・ご支援をいただきながら、今後とも学校経営にあたって行きたいと思えます。

「引き渡し訓練」ご協力ありがとうございました

13日(水)に実施した引き渡し訓練について、保護者の皆様には訓練へのご協力ありがとうございました。現在、アンケートを取っているところです。(後日掲載)訓練は想定をもとに実施されるものです。想定外もありますが、基本に基づき対応していきますので、その基本を訓練するものと考えています。



切り取り線

今年の漢字一文字募集

例年、今年の世相や出来事を表す漢字ひと文字が12月に発表されます。**上松山小学校の1年を表す漢字一文字を募集したいと思います。**右の枠に漢字をひと文字をお書きの上、職員室前の応募箱又は担任に渡してください。発表は12月中旬です。お待ちしております。

年 組 名 前

